



日本細菌学会
JAPANESE SOCIETY FOR BACTERIOLOGY

共催：第 92 回日本細菌学会総会 / イルミナ株式会社 ランチョンセミナー

16S解析からショットガンメタゲノミクスへ

演者： 大阪大学微生物病研究所・感染症メタゲノム研究分野
中村 昇太 先生

日時： 2019年4月24日(水) 11:40 ~ 12:40

会場： 札幌コンベンションセンター 第1会場

微生物集団を網羅的に解析するメタゲノムシーケンスがあらゆる分野で用いられるようになった。この進歩により、ヒトが多様な微生物と共生している超個体としての姿が明らかになりつつある。これまでは主に細菌集団をターゲットにして解析する 16S rRNA 遺伝子の部分配列を標的としたディープシーケンス解析が多用されているが、種や種内の多様性、また機能性遺伝子等のさらなる情報を求めてショットガンシーケンス解析が用いられ始めている。16S解析とショットガンシーケンス解析では得られる情報とコストが桁違いに異なるため、ショットガンシーケンス解析には十分な用意が必要である。本講演ではショットガンシーケンス解析を選択する前の注意点や問題点等を、我々の実際の研究例を交えて紹介する。

《ご注意》

本大会のランチョンセミナーをご聴講いただくには整理券が必要になります。
学会総会受付付近にて当日 8 時から 11 時に配布配布いたします。
整理券は、数がなくなり次第、配布を終了させていただきます。

■ セミナーに関するお問い合わせ先 contactJPN@illumina.com